

協議会だより「iism.」

NO.1

「はじめまして！」

この度、石山学区で、「学校運営協議会」が動き出しました。

「それは何ですか??？」

地域と学校が連携協働して、地域の高齢者、成人、若者、子ども、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関など、幅広い地域住民の参画を得て、地域全体でこの石山学区の未来を担う子どもたちの学びや成長を支える会です。

「学校を核とした地域づくり」
…いつまでも住み続けたいまちに

「地域と共にある学校づくり」
…子どもたちみんなを通わせたい学校に

を目標に地域と学校がパートナーとして活動していきたいと思っています。

本来は各校園ごとに組織されますが、石山学区は、地域連携、保幼小中連携に力が注がれていたため、「大津市立石山幼稚園・小学校・中学校学校運営協議会」として、3校園が合同で実施することになりました。

iism.

iism.

iism.

みなさんは、これらのロゴを見たことがありますか？
これらのロゴの書かれたジャンパーやポロシャツを着ている先生や地域の方がいますね。

「アイイズム」と読みます。「いしやまイズム」ともいいます。石山学区の子どもたちを支える取り組みとして、今から十数年前に、当時の石山中学校の先生によって考案され、今では石山学区の子育ての合言葉になりました。地域の将来を担う子どもたちの健やかな育成に関わる方々によって継承されてきました。今年度、7月2日（金）に開催された第1回学校運営協議会では、この合言葉をみんなで理解し、取組を進めることが大切であるという意見が多く聞かれ、石山学区学校運営協議会のテーマを次のように決めました。

〈 協議会のテーマ 〉

「iism.」のまちづくり

～地域 みんなで心を通わせ、

子どもを見守り育てる石山に！～

iism. の約束事

(あたたかい石山familyであるために必要なこと)

1. あいさつをきちんとしよう
2. 人の話をしっかり聞こう
3. たたいたり、けったりしない
4. きまりを守ろう
5. 人の喜ぶことをしよう
6. 時間を守ろう

★自分「だけ」が楽しいのではなく、自分「も」みんなも楽しいと思える集団をめざしましょう



石山小学校と石山中学校共通の約束事です。



今年度（令和3年度）協議会委員

| | | | |
|----------|--------------|--------|------------|
| 会長 清水 明美 | 青少年育成学区民会議会長 | | |
| 宮田 三月 | 自治連合会会長 | 中島 謙太郎 | 石山中学校PTA会長 |
| 瀬古 建一 | 社会福祉協議会会長 | 山本 陽子 | 石山小学校PTA会長 |
| 井上 孝夫 | 民生児童委員協議会会長 | 加藤 聖史 | 石山幼稚園PTA会長 |
| 西脇 マヤ | 主任児童委員 | 山本 洋祐 | 石山中学校長 |
| 三上 久実 | 主任児童委員 | 藤井 都 | 石山小学校長 |
| 久木元 広実 | 大平保育園長 | 衣川 洋子 | 石山幼稚園長 |

私たち委員は、それぞれに子どもたちの育ちに関わりを持ちながら、この協議会の中で現状の把握、意見交流、思いを共有することで石山の子どもたちを支え、見守りたいと考えています。コロナ禍で何ができるのか、何をしていくことが子どもたちの未来につながるのか…。未だコロナの収束は見通せない状況ですが、地域の中で連携していくことで子どもたちを応援していきたいと思っています。

7月2日 第1回学校運営協議会を 石山中学校にて開催しました

第1回学校運営協議会では、石山学区の子育ての共通テーマともいえる「**iism.**」について全員で認識を新たにしました。そして、この「**iism.**」を協議会のテーマに置き、今後の協議を進めていくことにしました。

今回は、中学校の授業を参観させていただきました。改めて見る今の中学生の様子に委員それぞれが感じたことはさまざまと思いますが、目に入ってきたのは石中の子どもたちがまじめに授業に取り組んでいる姿です。コロナ禍で過ごしづらいと思いますが、以前と変わらず前向きに歩んでいるように見えます。一人ひとり、悩むときも、つらいときもあると思います。コロナ禍で石山の特色でもある体験を重視した学習やカリキュラムが減ったり、できなくなったりしていることは、子どもたちはもちろん、先生も保護者もつらいと思います。それでも今回の参観では、子どもたちの明るい元気なパワーを感じました。引き続き、今できることを精一杯に、そしてそれぞれの目標を持って進んでほしいと思いました。



また協議会では、各校園から教育方針と子どもたちのようすを報告していただきました。マスク生活での子どもたちとのコミュニケーションの難しさをどう乗り越えるかなど、今まで以上にさまざまな工夫が必要だと感じました。委員からも、コロナ禍のために、地域で集まるのが難しく、繋がりが薄くなっていくことを懸念する声が出たほか、地域住民としてまた、保護者として子どもたちとどう関わるべきかという意見も出ました。そんな中で、私たちの役目は、委員がそれぞれの思いを共有し、地域に発信していくことであると感じました。

〈 石山学区の皆様へ 〉

まずは、地域の大人がつながることが大切と考えます。本協議会の活動にご理解とご協力をお願い致します。何かご意見ご質問がございましたら、今年度の事務局石山中学校にご連絡ください。（電話 077-537-0070）